

# 天皇出席の沖縄国民文化祭に反対！

## シンポジウム&デモ

- ◇ 日時 10月22日(土) 午後1時開場 午後1時半開始
- ◇ 場所 浦添ベッテルハイムホール (浦添市前田3-3-5・駐車場有)
- テーマ: 「自衛隊・天皇・戦争」
- ◇ 発言 金城実さん(彫刻家)  
清水早子さん(ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会)  
宮城恵美子さん
- ◇ 司会進行 プリティ宮城千恵さん
- ◇ 参加費 1000円(経済的に厳しい方は受付まで)
- ◇ 主催 「5・15復帰」を問う沖縄行動



辺野古基地反対の玉城デニーさんが再び知事に選ばれました。沖縄民衆の大きな力です。しかし、岸田文雄政権は、安倍元首相と同じく、辺野古基地建設の態度を変えません。そればかりか、アメリカに従って中国との戦争に備えています。琉球諸島全域への自衛隊配備をほぼ終え、琉球諸島を戦場にするつもりです。安倍元首相の「国葬」問題や旧統一教会と自民党との根深い癒着などに人々の怒りが爆発し足元が揺れていても、岸田政権は戦争態勢づくりの手を緩めません。

そんな中、2022年10月22日から11月17日にかけて、「日本復帰50年」記念事業として「第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭」(以下、沖縄国民文化祭)が開催されます。

「国民文化祭」とは、国体、植樹祭、豊かな海づくり大会とともに4大天皇行事の一つです。徳仁が天皇になった時から天皇行事になりました。地域や人びとのさまざまな文化への欲求や活動を天皇のもとに置こうとするものです。沖縄国民文化祭では、アマチュアを中心に歌や演奏会、演劇、

民俗芸能、囲碁、将棋、民謡、太鼓、空手、ダンス、オペラ、ミュージカル、美術作品展示、茶会などのさまざまな文化活動が発表されます。そしてその時、天皇徳仁は沖縄に来て「おことば」を述べます。それは、参加した地域や人びとに「認められた」「選ばれた」「誇らしい」「うれしい」という感情を、また同時に沖縄の人びとすべてにも天皇への「好ましい」感情をつくりだすものだ、と日本(ヤマトウ)の支配階級は考えています。天皇のもとでの国家的一体性の基盤づくり、「国民統合」というわけです。文化交流という誰もが入りやすい方法を用いて、戦争の危険性を文化の中に溶け込ませ、沖縄の民衆を支配するものです。

沖縄を再び戦場にしようする日本(ヤマトウ)の支配者にとっては、沖縄の人びとを国家(ヤマトウ)に従順にさせる必要が出てきたのだと思います。私たちは、こうした天皇出席の沖縄国民文化祭に反対です。共に反対の闘いをつくりだそうではありませんか。

**\* 10月23日(日) 10時～ 天皇出席の沖縄国民文化祭開会式抗議行動**  
**式典会場周辺で スタンディング行動**

連絡先: 「5・15復帰」を問う沖縄行動連絡先: 090-8356-3253 川越